

# 第1章 プロジェクトの背景・経緯

## 第1章 プロジェクトの背景・経緯

### 1-1 当該セクターの現状と課題

#### 1-1-1 現状と課題

##### (1) マルチメディアの現状と課題

「イ」国は多民族国家で、約15千の島々からなる広大な領土を持っており、国家統合のための手段（インドネシア語の普及、情報の伝達等）として、また健全な国民生活の促進、教育の普及、地域開発等の手段としてラジオ・テレビ放送が大きな役割を果たしている。

32年に及ぶスハルト政権の崩壊と民主的政権の樹立に伴い、「イ」国では、あらゆる面で旧制度の見直しが求められている。行財政改革、司法制度改革、経済構造改革等が進められる中、報道や言論の自由に関する規制緩和も進んでいる。

1999年には、新聞・雑誌法、映画法、放送法の改正が相次いで国会で提出され、報道や言論の自由に関する様々な規制が緩和された。さらに、国策大綱において、マスメディアの役割の尊重と言論の自由の確保、報道倫理の確立、情報インフラの整備等が謳われている。

「イ」国政府は、多民族、多文化社会である「イ」国の社会・経済的発展において最も重要なことは、国民間の円滑な意志疎通を図り、民族間の社会的・文化的背景・独自性を尊重しつつ民族融和を促進し、もって国民の団結を維持することとしている。

民族融和・団結の維持を図るうえで「情報の共有」は重要な要素であり、一度に多量の情報を発信できるテレビやラジオ等のマスメディアは必要不可欠である。特に広大な国土に多数の国民が分散して住んでいる「イ」国においては有効である。

多様な国民を一つにまとめ、民主的な社会経済システムの構築を目指す「イ」国政府は、かかる認識に基づき、マスメディアの健全な発展を国家的な目標の一つとしている。国家開発計画（PROPENAS 2000-2004）において、情報・通信メディアの環境整備にかかる指針をまとめ、報道の自由の確保、報道倫理の確立、情報の機会均等などに必要な政策を積極的に推進してきた。

こうした政策の影響を受け、従来は公共放送機関であるインドネシア・テレビ公社（TVRI：現在の「インドネシア・国有テレビ会社」）やインドネシア・ラジオ公社（RRI）が「イ」国マスメディアの主流であった。現在では、規制緩和の流れを受けて民間放送局が多数開局（2003年4月現在：10社）し、マスメディア業界全体が活性化している。しかし、2002年11月に新放送法が成立し、全国放送できる公的放送機関はTVRIとRRIだけとなった。

##### (2) 新放送法の施行

2002年11月28日に国会で可決された新放送法では、放送局を、公共放送局（Lembaga Penyiaran Publik）と民間放送局（Lembaga Penyiaran Swasta）に分類し、非営利放送局である公共放送局（TVRIおよびRRI）のみが全国放送を行うことを許可している。

反対に、民間放送局の場合は、同法案によると、特定地域内における放送のみが許され、全国放送を行う場合はそれぞれの地方における地方放送局による中継を義務付けている。

こうした規定の狙いは、大手民放テレビ局の独占を阻止し、各地方における地方放送局の育成を奨励するためである。全国放送を狙う大手民間テレビ局は全国放送を禁止した場合、今まで全国放送を行うために行ってきた設備投資や人材育成が無駄になり、多くのリストラをもたらすことや、地方の経済力にはばらつきがあるため、地方放送局の設置は時期尚早であることから、この規定に強く反対している。

また、新放送法は、テレビやラジオなどの電波を利用した放送事業で、外国資本に最高 20%の株式取得を認めている。

スハルト政権時代は TVRI と三つの民間放送局しかなかったが、この 4 年間で全国ネットの民放局は十数局に増え、広告収入の不足で、どのテレビ局も設備投資が回収できないまま、経営難に直面している。電波メディア事業の外資参入が解禁されると、今後、周辺国や豪州などの資本が、経営参入することが予想される。

### (3) TVRI の現状と課題

TVRI は、「イ」国初のテレビ放送局として 1962 年に開局し、1976 年に通信衛星を使った全国ネット放送、カラー (PAL 方式) 放送を開始、1989 年には第 2 放送 (首都圏放送) を開始した。現在では、14 放送局 (ジャカルタ中央局および地方 13 局) および 10 の番組制作局 (13 局のうち 3 局は機材が未設置である) により、1 日 19.5 時間サービスを実施している (ジャカルタ時間で朝 4 : 45 から深夜 0 : 35 まで)。人口比カバー率 82%と「イ」国最大規模の放送ネットワークを有し、国民にとり最も身近な放送機関である。番組構成比率は「ニュース・情報番組」32.6%、「教育・宗教番組」7.1%、「教養・文化・娯楽番組」52.2%、「その他」8%である。

40 年以上の歴史を持つ TVRI は、開局以来、インドネシア唯一のテレビ局としてその地位を維持してきた。しかし、1990 年代に入ると、民放放送局が次々と誕生し、さらに、衛星放送受信アンテナの普及によって海外の放送が手軽に視聴できるようになると、テレビ局の競争が激化した。番組の質が劣る上、体質改善を怠ってきた TVRI は徐々に経営不振に陥った。

このため、TVRI は 1990 年代初頭から民放 5 局に対し、広告収入の 12.5%を TVRI に納入することを定めた放送協定を作成し、資金調達に柱にしていた。しかし、1997 年の経済危機で、民放の経営が苦しくなると、この協定は有名無実化したため、TVRI の経営は一掃厳しいものとなった。

さらに、2000 年 11 月に開局したメトロ TV がこの協定を拒否したことから、当初からこの協定に不満を示していた民放側は協定の廃止を要求した。その結果、2001 年 10 月に協定が廃止された。

こうしたことから TVRI は深刻な資金不足に陥り、経営の継続か、打ち切りかを定める協議を行ってきたが、コマーシャルや番組のスポンサーを募集することで放映を継続させることを決定した。

スポンサー料を他社より低く設定し、幅広くスポンサーを募集する方向であるが、一部でコマーシャル

を導入すると国営放送としての権威が損なわれるといった指摘もあるため、教育を重視した番組を多く制作し、民放との差別化を図っていきたい意向である。しかしながら、テレビ業界は民放との競争が激化しており、TVRI 再建の道のりも険しいものとなっている。

TVRI は 2002 年 4 月に政令により公社 (PERUM) から国有会社 (PERSERO) にステータスを変更することになっていたが、2003 年 4 月 15 日付で正式に国有会社となったため、様々な面で自由度は高まったものの、従来からの公共放送機関としての使命に加え、経営的自立、新たな収益源の確保、番組内容の改善・拡充、専門性の高い人材の育成等、達成すべき課題は多い。



■ ジャカルタ本局   ● 支局 (13局)   ▲ 番組制作局 (10ヶ所)

図 1-1-1 TVRI 全国 13 支局および番組制作局の位置

#### (4) TVRI マカッサル放送局の現状と課題

##### 1) 全国放送と時差

「イ」国の国土は東西に5,000km余りの広がりをもっている。これはアメリカ合衆国やヨーロッパの東西の距離よりも長い。したがって同国は三つの時差ゾーンに分かれている。東部地域（イリアンジャヤ島など）は日本国と同じ時間帯であるが、この東部時間を基準にとると、中部地域（カリマンタン島など）は1時間遅れ（-1）、西部地域（西部ジャワ島、スマトラ島など）は2時間遅れ（-2）、すなわち3時間の時差があるが、実質的生活時間で見るとイリアンジャヤ島に朝日が射し始め人々の生活が始まっても、スマトラ島の人々はまだ就眠中である。このような広大な国土を対象とする全国放送サービスは、「イ」国の生活時間にある程度配慮したものでなければならない。ジャカルタ本局での放送が朝5時に開始されてもマカッサル市における放送開始は朝6時であり、マカッサル市の人々は6時以前のテレビ放送を視聴できない。

##### 2) マカッサル放送局番組放送

TVRI マカッサル放送局では、朝の6時から深夜まで番組を放送している（日によっては翌午前1時まで放送）。

番組は大きく分けて、TVRI ジャカルタ本局からの全国ネットと、TVRI マカッサル放送局からの自主制作番組の2つに分けることができる。一日の放送のうち、TVRI マカッサル放送局からの地方番組は夕方の6時間（以前は17:00～22:00までの5時間）で、これ以外については、TVRI ジャカルタ本局からの全国ネットである。2001年10月までは朝の地域向け番組を5:00～7:00まで放送していたが、機材の老朽化とテレコム通信回線料金の負担が大きいことから、放送を中止している。

TVRI マカッサル放送局では、これらの放送を以下の2つの方法で運行している。

- ① TVRI マカッサル放送局からの放送：PC室に併設のアナウンサーブースからの生放送とPC室のVTRや第2スタジオからのVTR番組を切り替えて放送している。
- ② TVRI ジャカルタ本局からの全国ネット番組の中継：パラパ通信衛星による、衛星伝送を構内に設置してある直系4mのパラボラアンテナで直接受信を行い、送信機室内の衛星用受信機（日本製）2台で受信して送信機の制御卓で切り替えて放送するシステムとなっている。TVRI マカッサル放送局舎内の送信機（5kW）にてマカッサル市周辺に送信している。

### 3) マカッサル放送局の番組制作内容

全国各支局の役割は、TVRI ジャカルタ本局が放出する番組やニュースの全国放送にその地方独自の番組やニュースを一定の時間帯に放映するのが目的である。番組内容はその地方の視聴者にとって身近で興味が持てる番組やニュースから構成されている。とくに、インドネシアのように多民族国家からなる国においては、地方番組の放送は重要な役割をもっている。

TVRI マカッサル放送局の地方番組の放送時間は1日平均6時間となっており、その大半は「教育・宗教」および「音楽・娯楽」が占めている。下表に番組構成比およびその内容を示す。

表 1-1-1 TVRI マカッサル放送局の放送番組構成

項目	分類	ニュース・報道	教育・宗教	音楽・娯楽	ドラマ・文化	その他	合計
放送時間数 (分)		60分	80分	80分	60分	30分	5時間
比率		20%	25%	25%	20%	10%	100%

備考：2003年4月調査時における過去3年平均の放送時間数。

出所：TVRI マカッサル放送局

【ニュース・報道】番組は、国内はもとより、世界の情勢や出来事を国民に、敏速かつ正確に伝えることが重要である。「イ」国の場合これはTVRI ジャカルタ本局がその役割を果たしている。しかし、地方においてもその地域の出来事やお祭りなどのイベントを地域住民に伝え、天災や災害等の発生時には被害を最小限に食い止めるための重要な情報を提供している。南スラウェシ州にはこの地方の情報をテレビ放送する民間放送局は目下存在しないためTVRI マカッサル放送局は重要な役割を持っている。

【教育・宗教】番組は放送の特性を生かして、幼稚園、小、中学、高校、大学等の対象者を限定して教育を直接サポートする学校放送番組と生涯学習のための各種講座、更に高齢者や福祉を対象とした生活情報の番組があるが、多民族国家としてのインドネシアは言語も多様である。スラウェシ島ではブギス語、マロス語が主流であるが、ヤングジェネレーションと呼ばれる15歳以下の若者は学校教育の普及でインドネシア語しか理解できなくなっている。このためTVRI マカッサル放送局でも必要に応じてインドネシア語に翻訳して放送している。

「イ」国政府は国是として全国民に何か一つの宗教を崇拝するように奨励しているため、宗教番組は「イ」国にとっては重要な番組である。「イ」国は世界で最大のイスラム人口を抱えており、イスラム教徒は全人口の87.2%を占めている。続いてキリスト教9.6%、ヒンドゥー教1.8%、仏教1%となっている。しかし、東インドネシアではミナハサやカトリック教徒が主流で、宗教間の摩擦が抗争の原因にもなっている。南スラウェシ州ではイスラム教徒がほとんどであるが、北スラウェシ州ではカトリック教徒が多い。

【音楽・娯楽】番組は視聴者の心の安らぎを深めるドラマ、バラエティ、舞踊、音楽番組等が含まれるのが一般的である。

音楽はスラウェシ島の4大民族（マカッサル、ブギス、マンダルおよびトラジャ）ごとに独自の

バージョンがある他、全国版もあるクロンション(Keroncong)、ラグラグダエラ(Lagu-Lagu Daerah)、ダンドウ(Dangdut)が有名である。また、イスラム宗教音楽のカシーダ(Qasidah)も全国レベルで有名である。「イ」国の舞踊は創作活動も非常に盛んで、とくにジャワ島やスマトラ島の伝統舞踊家は外国人にも高く評価されている。スラウェシ島の舞踊で全国的に有名なものはマカッサルダンスのパカレナ(Pakarena)、ブギスダンスのパテヌン(Pattennung)、マンダルダンスのサヨカンベ(Sayokambe)およびトラジャダンスのパゲル(Pagellu)がある。

【ドラマ・文化】インドネシアは地理的にもその地方独特の文化をもっており、その地方固有の文化が外部との文化と融合したり、混合されて涵養されてきた。番組内容はその地方の伝統芸能や伝統音楽等の特色のある番組があり、文化の保存と育成にとって重要である。スラウェシ島のドラマで全国的に有名なドラマはデンマンポ(Deng Mampo)およびペタプアン(Petta Puang)がある。

表 1-1-2 TVRI マカッサル放送局放送番組の概略(事例)

No	時間	内容	発信局	生番組/ 録画再生	番組の内容
1	6時～	TVRI 全国向け	JKT	全国ネット	TVRI ジャカルタ局番組の衛星伝送
2	16時～	自主制作番組-1	MKS	録画再生	主に TVRI マカッサル放送局で制作の子供向け番組
3	16時30分～18時	自主制作番組-2	MKS	録画再生	主に TVRI マカッサル放送局で制作の家庭向け料理番組ほか
4	18時～18時20分 全国ニュースネット	TVRI 全国向け	JKT	全国ネット	TVRI ジャカルタ局番組の衛星伝送
5	18時20分～19時	ローカルニュース	MKS	生放送	TVRI マカッサル放送局顔出しスタジオよりの生放送を含む
6	19時～13分	TVRI 全国向け	JKT	全国ネット	TVRI ジャカルタ局番組の衛星伝送
7	19時13分～22時	自主制作番組-3	MKS	録画再生	主に TVRI マカッサル放送局制作の民俗音楽・舞踊など
8	22時～1時	TVRI 全国向け	JKT	全国ネット	TVRI ジャカルタ局番組の衛星伝送

備考：2003年4月現在 JKT：ジャカルタ本局制作 MKS：マカッサル放送局制作  
出所：TVRI



表 1-1-3 TVRI 全国放送番組表 (2003 年事例)

TIME	MONDAY					TUESDAY					WEDNESDAY					THURSDAY					FRIDAY					SATURDAY					SUNDAY					TIME										
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5					
04.45-05.00	TECHNICAL FORMATTING & OPENING																																			04.45-05.00										
05.00-06.00	MORNING RELIGIOUS SPEECH																																			05.00-06.00										
06.00-07.00	MORNING NEWS																																			06.00-07.00										
07.00-07.30	ENGLISH NEWS SERVICE																																			07.00-07.30										
07.30-08.00	PHYSICAL REFRESHING (SPORT)																																			07.30-08.00										
08.00-08.30	RT/RW															DRTV															08.00-08.30															
08.30-09.00	DRTV																																			08.30-09.00										
09.00-09.30	FALL IN LOVE															FAITH WINDOW (RELIGION)					CAGAR PESONA					ARENA KECE					09.00-09.30															
09.30-10.00	AMUSEMENT					COMEDY					HEALTHY MENU					I & YOU					IDOLA					BANDO					09.30-10.00															
10.00-10.30	DIBISIKIN ?																																			10.00-10.30										
10.30-11.00	LIFE CLIP																																			10.30-11.00										
11.00-11.30	LOCAL NEWS																																			11.00-11.30										
11.30-12.00	KONTESWARA ?																																			11.30-12.00										
12.00-13.00	NOON NEWS																																			12.00-13.00										
13.00-14.00	FAMILY CONSULTATION ?																																			13.00-14.00										
14.00-14.30	METRO INDONESIA																																			14.00-14.30										
14.30-15.00	LOCAL POPULAR SONG										CEKAKAK CEKIKIK										POP LOCAL					BIKERS					KID ACTION					14.30-15.00										
15.00-16.00	BANDO LIVE																																			15.00-16.00										
16.00-16.30	DIATRANS					KUNKOR					CHIBICO					MA. ISLAM					AIR MAGAZINE					H I N D U H U					K O N G H U					B U D H A					SPORT					16.00-16.30
16.30-17.00	INTERSPORT																																			16.30-17.00										
17.00-17.30	PROFILE																																			17.00-17.30										
17.30-18.00	COMEDI					AGRO BUSINESS					THE BRILLIANT ?					AMRU BIN ASH					LIFE SKILL					SINETRON REMAJA					17.30-18.00															
18.00-19.00	AFTERNOON NEWS																																			18.00-19.00										
19.00-20.00	(PM)					E.G.P ?										BATTLE OF WITS					INDONESIAN JOURNALIST					HARMONEOUS					PAVILIUN 21					19.00-20.00										
20.00-20.30	TAX CORNER					PERSONA					BIRUNYA PERMATA					K S M J ?					A GOGO MAS					RAJA KUIS PASAR PINTER					DANSA YO DANSA					20.00-20.30										
20.30-21.00	EXPERT																																			20.30-21.00										
21.00-21.30	EVENING NEWS																																			21.00-21.30										
21.30-22.30	JAYA SUPRANA SHOW					L B J P ? E L A O ? G U Z P ? E E Z ? N N C R ? D I L C ? H G U K ? T H B K ?					DANGDUT PRO					COUNTRY ROAD					GELATAK GELITIK CAMPUR SARI					K A M E R A					K E R O N C O N G / A S I A M A N I S E / M U S I K T E M P O D O E L O E					GITA PERSONA					21.30-22.30					
22.30-23.00	HIBURAN																																								22.30-23.00					
23.00-00.00	HEAD TO HEAD					N G O					NIGHT DISCUSSION										W A Y A N G					T I G A					W A Y A N G					S I N E R I					23.00-00.00					
00.00-00.05	RENUNGAN & TUTUP SIARAN																																			00.00-00.05										
00.05-00.30	RENUNGAN & TUTUP SIARAN																																			00.05-00.30										
00.30-00.35	RENUNGAN & TUTUP SIARAN																																			00.30-00.35										

REMARKS :

□ : DIVISI I

□ : DIVISI II

□ : DIRECT (LIVE)

出所 : TVRI

JAKARTA,  
PERUSAHAAN JA WATAN  
TELEVISI REPUBLIK INDONESIA

SUMITA TOBING PhD,  
DIREKTUR UTAMA

表 1-1-4 TVRI マカッサル放送局地方番組表 (2003 年 4 月 12 日放送事例)

PD. UMUM/ASS PD. UMUM : SYAIFUL BY/FATMAEDAH  
 PENYIAR ON : BACHRI  
 NEWS BROADCASTER :

TD. SIARAN MALAM :  
 PD. BERITA : HJ. SUTRI

NO.	TIME	PROGRAM	STA	BENTUK	DUR	REMARKS
#.	15. 54	<u>FANFARE/MUSIC</u> <u>LOCAL (BUGIS) SONG</u>	MKS	VTR	2'	52/BC. 30/02 R. 2
#.	15. 58	<u>BROADCASTER OPENS</u>	MKS	LIVE	2'	BOX
01.	16. 00	POPULAR LOCAL SONG	MKS	VTR	30'	BC. 30/57
	-	DANCE INTERLUDE	MKS	VTR		
02.	16. 30	LIFE NICHEL RECESS	MKS	VTR	30'	
	-	MUSICAL INTERLUDE	MKS	VTR		
03.	17. 00	<u>HELLO TV AUDIENCE</u>	MKS	LIVE	64'	(PD) Siaran
#	18. 04	SPOT OF MILK' S LAST DROP (ADVERTISEMENT)	MKS	VTR	30'	K. SAMA
#	18. 05	FILLERS (SHORT NEWS)	MKS	VTR	3'	
05.	18. 07	<u>CALL TO PRAY FOR MOSLEM</u>	MKS	VTR	4'	
	-	FILLER HADITS/AZAN MESSAGE	MKS	VTR	3'	
	-	SPOT NETRAL/MUSICAL INTERLUDE	MKS	VTR	6'	
06.	18. 20	<u>LOCAL NEWS</u>	MKS	LIVE/VTR	35'	(PD) Pemberitaan
		SPOT SCM BEAUTIFUL MOTHER	MKS	VTR	15'	K. SAMA
		ID NEWS CALL	MKS	VTR		
#	18. 55	FASICATING SONG BY MISS ETHA LESTARI	MKS	VTR	5'	K. SAMA
07.	19. 00	TVRI AFTERNOON NEWS	JKT		60'	
#	19. 13	TIME INDICATES MOSLEM TO PRAY	MKS	CHARGEN		
#	20. 00	TOMMOROW' S PROGRAM	MKS	LIVE	2'	BOX
08.	20. 02	BUDHA RELIGION COLUM	MKS	VTR	30'	Hasil Rek Jak
	-	MUSICAL INTERLUDE	MKS	VTR		
09.	20. 30	SHORT FILM "OATH"	MKS	VTR	90'	BC. 90/1177
10.	22. 00	EVENING NEWS	JKT		30'	
11.	22. 30	ENTERTAINMENT	JKT		90'	
12.	00. 03	DRAMA	JKT		57'	
-	01. 00	NIGHT MEDITATION	JKT		3'	
MATERI CADANGAN : Musical Interlude according to Recorder Prepared						BROADCASTING COORDINATOR
FILLER/SPOT : Refer to advertisement rundown						
NOTES :						
						M. JUSRI JUSUF, S.Sos
						NIP. 050023498

出所 : TVRI マカッサル放送局

表 1-1-5 TVRI マカッサル放送局地方番組表 (2002 年 4 月 12 日放送事例)

PD. UMUM/ASS PD. UMUM : M. ASLAN/SYAMSUL B. SAID  
 PENYIAR ON : FAUZIAH ERWIN  
 NEWS BROADCASTER :

TD. SIARAN MALAM : SUPARDI  
 PD. BERITA : M. YUSDI

NO.	TIME	PROGRAM	STA	BENTUK	DUR	REMARKS
#	16.00	FANFARE / MUSIC	MKS	VTR	2'	
#		LOCAL (MAKASSAR) SONG	MKS	VTR		
#	16.02	BROADCASTER OPENS	MKS	LIVE	2'	
01.	16.04	CHILDREN ARENA	JKT		25'	
02.	16.30	CARTOON FILM	JKT		20'	FADE OUT
03.	16.50	APPRECIATION	MKS	VTR	10'	(PD) Pemberitaan
04.	17.00	DYNAMIC OF SPORTS	MKS	VTR	27'	(PD) Pemberitaan
05.	17.27	GUIDANCE TO VILLAGE	MKS	VTR	27'	(PD) Pemberitaan
#	17.54	FILLER (SHORT NEWS, etc.)	MKS	VTR	2'	BC5/17
06.	17.56	CALL TO PRAY FOR MOSLEM	MKS	VTR	4'	201/MKS 5/54
#	18.00	FILLERS HADIST	MKS	VTR	2'	BC5/17
#	18.02	SPOT: TVRI RAMADHAN (MOSLEM FASTING MONTH FESTIVAL)	MKS	VTR	1'	K. SAMA
#	18.03	RAINBOW (MISCELLANEOUS INFO)	MKS	VTR	5'	BC. 30/123
#	18.08	MUSICAL INTERLUDE	MKS	VTR	16'	
07.	18.25	LOCAL NEWS	MKS	LIVE/VTR	30'	(PD) Pemberitaan
-		BUSINESS ADVERTISEMENT (PROFILE)	MKS	VTR	15'	PAGE 3003
-		SPOT: MOTHER' S BREAST MILK	MKS	VTR	30'	
-		TUNE: NEWS	MKS	VTR		
#	18.55	ADVERTISEMENT	MKS	VTR	30'	
#	18.58	TOMORROW' S PROGRAM	MKS	LIVE	2'	
08.	19.00	AFTERNOON NEWS	JKT		60'	
#	19.03	TIME INDICATES MOSLEM TO PRAY	MKS	CHARGEN		
09.	20.00	INDIAN CINEMA	MKS	VTR	60'	BC. 60/71
10.	21.00	ARTIFICIAL SPEECH	MKS	LIVE	60'	(PD) Siaran
#	22.00	CIGARETTE ADVERTISEMENT	MKS	VTR	30'	K. SAMA
11.	22.00	EVENING NEWS	JKT		30'	
12.	22.30	BLUES NIGHT	JKT		30'	
#	23.00	NEWS SUMMARY	JKT		3'	
-	23.03	CONTINUED BLUES NIGHT	JKT		57'	
-	24.00	NEWS MAIN POINTS	JKT		3'	
13.	24.03	HEAD TO HEAD	JKT		57'	
-	01.00	LAST NEWS SUMMARY	JKT		3'	
-	-	BROADCASTER CLOSE	JKT		3'	
MATERI CADANGAN :						BROADCASTING
FILLER/SPOT :						COORDINATOR
NOTES :						
						M. JUSRI JUSUF, S.Sos
						NIP. 050023498

出所 : TVRI マカッサル放送局

表 1-1-6 TVRI マカッサル放送局地方番組表 (2001 年 5 月 13 日放送事例)

PD. UMUM/ASS PD. UMUM : TAJUDDIN/ARYANI IRMA  
 PENYIAR ON : DRS. CHAIRUL AMRI  
 NEWS BROADCASTER : AKMAL TANTU/ERNA TAUFAN

TD. SIARAN MALAM : RASYID  
 PD. BERITA : A. AMRI ADNAN

NO.	TIME	PROGRAM	STA	BENTUK	DUR	REMARKS
#	15. 54	PROGRAM FOR AFTERNOON/EVENING BROADCAST	MKS	LIVE	3'	
#	15. 57	LOCAL (MAKASSAR) SONG	MKS	VTR	3'	
01.	16. 00	NEWS BROADCAST	JKT		30'	
02.	16. 30	CHRISTIAN COLUMN	JKT		30'	
03.	17. 00	STUDY AND SING	JKT		60'	
04.	17. 58	CALL TO PRAY FOR MOSLEM	MKS	VTR	4'	
#	18. 02	FILLERS HADITS	MKS	VTR	4'	
05.	18. 06	BALLAD	MKS	VTR	19'	
#	-	SPOT: CHILDREN EDUCATION	MKS	VTR	1'	
#	-	SPOT: PSM (MAKASSAR FOTBALL ASSOCIATION)	MKS	VTR	1'	
#	-	SPOT: BROADCAST CONTRIBUTION	MKS	VTR	3'	
06.	18. 30	NATION' S CHILDREN LIBRARY	JKT		30'	
07.	19. 00	LOCAL NEWS	MKS	LIVE/VTR	30'	
#	19. 05	TIME INDICATES MOSLEM TO PRAY	MKS	CHARGEN		
#		TUNE: NEWS	MKS	VTR		
08.	19. 30	SERIAL SORT-FILM Title: "Flower Among The Grass"	MKS	VTR	28'	
#	19. 58	TOMORROW' S PROGRAM	MKS	LIVE	2'	
09.	20. 00	NEWS BROADCAST	JKT		30'	
10.	20. 30	FESTIVAL TV-2, 7 <sup>TH</sup> DAY	MKS	LIVE	60'	
#	-	LOCAL SONG (TORAJA)	MKS	VTR		
#	-	TELOP: FILM "FAUNA/ANIMAL WORLD"	MKS	CHARGEN		
11.	21. 30	FILM "FAUNA/ANIMAL WORLD"	JKT		30'	CUT
12.	22. 00	MUSIC SELECTION	JKT		60'	
13.	23. 00	AIR MAGAZINE	JKT		60'	
14.	00. 00	HEALTH	JKT		30'	
15.	00. 30	UNDER SEA	JKT		30'	
-		BROADCASTER CLOSE/HYMNE	JKT		5'	
MATERI CADANGAN :						BROADCASTING
FILLER/SPOT :						COORDINATOR
NOTES :						
						M. JUSRI JUSUF, S.Sos
						NIP. 050023498

出所 : TVRI マカッサル放送局

表 1-1-7 TVRI マカッサル放送局地方（朝）番組表（2001年5月11日放送事例）

PD. UMUM/ASS PD. UMUM : SUPIRMAN/A. S. ARIFIN, SE                      TD. SIARAN MALAM : BAMBANG WHK  
 PENYIAR ON : DRA. DJURATI    PD. BERITA : Hj. SUTRI  
 NEWS BROADCASTER : HAERUDDIN TAHANG

NO.	TIME	PROGRAM	STA	BENTUK	DUR	REMARKS
#	04.55	INTERNAL MESSAGE	MKS	CHARGEN	5'	
#	05.00	TECHNICAL PATTERN	MKS	VTR	14'	RELAY
#	05.14	NATIONAL ANTHEM/BROADCASTER OPENS	MKS	VTR/LIVE	3'	
#	05.17	LOCAL SONG	MKS	VTR	3'	BC
01.	05.20	QUR' AN (MOSLEM BIBLE) READING	MKS	VTR	5'	BC. 30/547 R. 3
02.	05.30	MORNING RELIGIOUS SPEECH	MKS	LIVE	30'	
04.	06.00	<u>EASTERN NEWS</u> ID CALL	MKS	VTR	30'	
#	06.20	CONTINUED MORNING SPEECH	MKS	LIVE	30'	
#	06.50	MISCELLANEOUS INFO (MOSQUE)	MKS	VTR	4'	
-		SPOT: CHILDREN EDUCATION	MKS	VTR	1'	
-		SPOT: BROADCAST CONTRIBUTION	MKS	VTR	3'	
#	06.58	PROGRAM REVIEW/BROADCASTER CLOSES	MKS	LIVE/VTR	2'	
#	07.00	PROGRAM CONTINUES AND AS SOON AS JOINING TVRI JAKARTA STATION				RELAY
MATERI CADANGAN : Spare Material: Musical FILLER/SPOT : 07.00 local time, Broadcast is transferred to transmitter until the end of Broadcast NOTES :						BROADCASTING COORDINATOR  M. JUSRI JUSUF, S.Sos NIP. 050023498

出所：TVRI マカッサル放送局

4) TVRI マカッサル放送局のカバーレッジエリア・人口

TVRI マカッサル放送局からの番組は、放送波中継とマイクロ波により 17 の中継局に伝送される。送信所は図 1-1-2 に示すとおりスラウェシ島南部の平野部を中心に配置されており、TVRI マカッサル放送局によれば面積ベースのカバーレッジ比率は南スラウェシ州の約 60%、その人口（2000 年：8.05 百万人）の約 80%（約 6.4 百万人）をカバーしている。これらの常時放送区域に加え、東インドネシア地域に存在するマナド、アンボン、ジャヤプラなどに収録テープを年に数回配送している（図 1-1-3 参照）。これらの地域での視聴者数を加えると、マカッサル放送局の視聴者人口カバーレッジは約 8.2 百万人と推定される。

送信所名と出力および建設年は、表 1-1-8 のとおりである（表中の番号は図 1-1-2 の中継局の位置を示す）。なお、マカッサル放送局には、1998 年フランス国により出力の大きい 5kW の送信機が供与されている。

表 1-1-8 既設送信所の状況

番号	名称	建設年	出力	タワーの 高さ(m)	送信周波数 (CH)
①	マカッサル送信所(本計画対象地)	1998 年	5 kW	80	4
②	グヌンロカ送信所	1977 年	300 W	43	9
③	タージュンブータン送信所	1978 年	300 W	60	7
④	グヌンマカダイ送信所	1979 年	1 kW	60	9
⑤	シンカン送信所	1979 年	300 W	60	6
⑥	マタノ送信所	1980 年	10 W	60	4
⑦	バカラ送信所	1981 年	300 W	60	5
⑧	ブントターバン送信所	1981 年	300 W	60	8
⑨	ワワンドラ送信所	1981 年	10 W	40	8
⑩	カンダレアピア送信所	1982 年	100 W	65	7
⑪	パロポ送信所	1981 年	100 W	65	6
⑫	マムジュ送信所	1986 年	300 W	40	4
⑬	チャンバ送信所	1987 年	10 W	20	9
⑭	パーサンカユ送信所	1997 年	10 W	40	4
⑮	リンデンアロ送信所	1997 年	10 W	40	4
⑯	サラボシ送信所	1991 年	1 kW	65	6
⑰	サンポド送信所	2000 年	10 kW	60	8
⑱	ブルンクバ送信所	1989 年	(*) 10 W	40	5

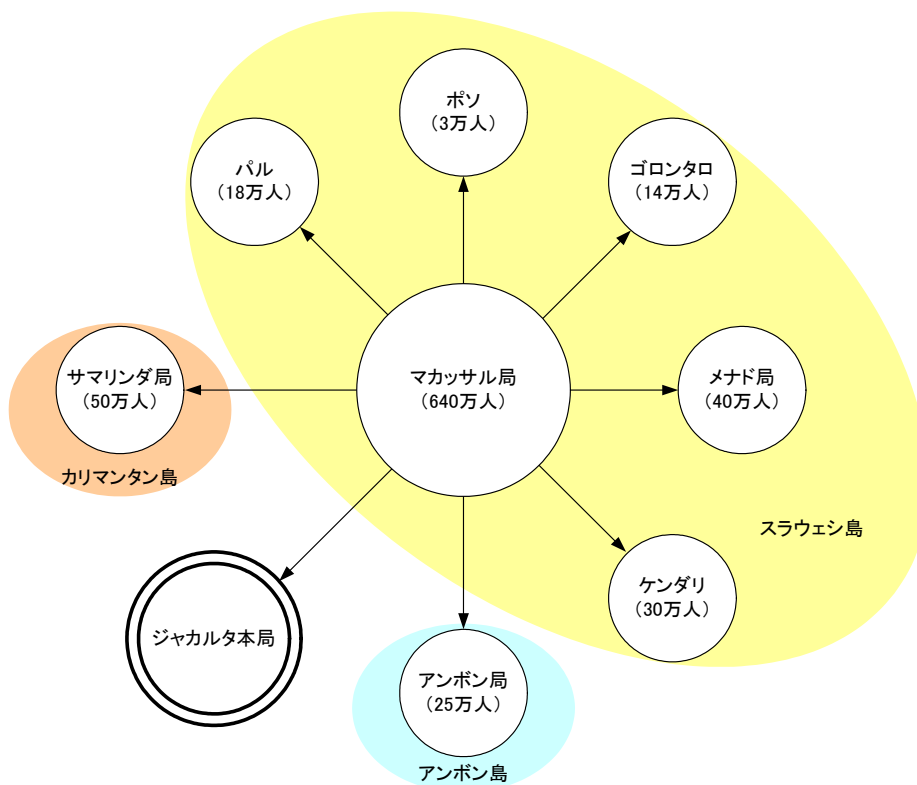
備考：(\*) 現地調査時点では故障中

出所：TVRI マカッサル放送局



出所：TVRI マカッサル放送局

図 1-1-2 TVRI マカッサル放送局カバレッジと各送信所の位置



( ) 内は放送カバレッジの推定人口を示す。

図 1-1-3 マカッサル放送局制作番組テープネット

## 5) TVRI ジャカルタ局からの番組伝送

TVRI ジャカルタ局で制作された番組は、図 1-1-4 に示すとおり、通信衛星回線を利用し、支局であるマカッサルへ伝送される。

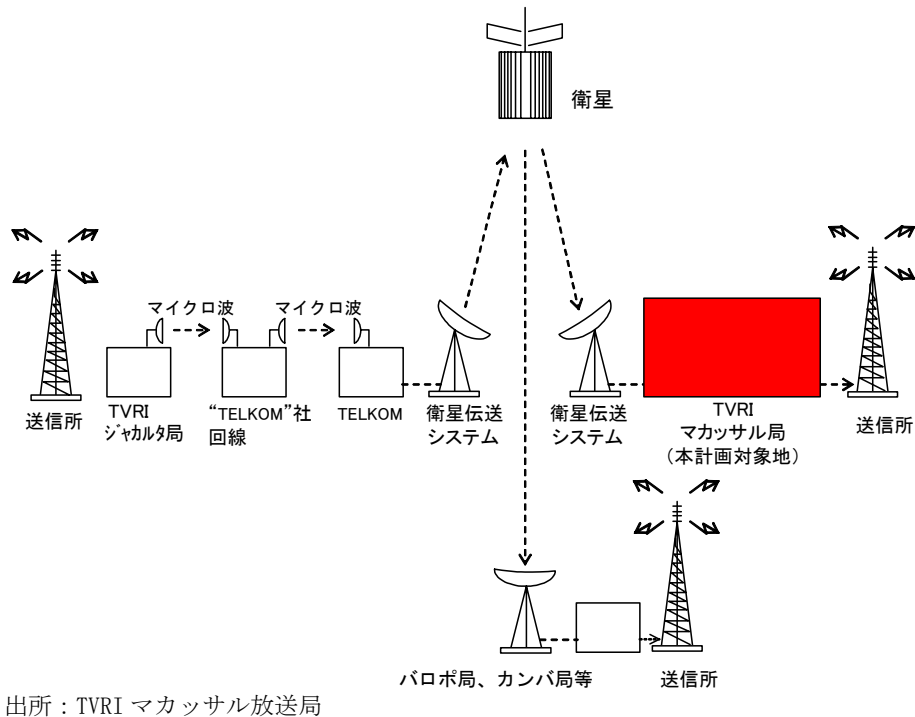


図 1-1-4 TVRI ジャカルタ本局とマカッサル放送局の番組伝送システム

## 1-1-2 開発計画

### (1) 2000—2004 年国家開発計画 (PROPENAS)

1997 年のアジア経済危機の勃発により、翌年 5 月には 32 年間に及ぶスハルト元大統領の長期政策 (1969 年～98 年まで 6 回に及ぶ 5 カ年開発計画 (Repelita)) は終了し、前ワヒド政権下に制定された「2000—2004 年国家開発計画」を現政権 (メガワティ大統領) は推進しようとしている。

国家開発計画は 9 つの分野の開発指針に基づき編集されているが国家開発のプライオリティーは現在同国が抱える問題から全分野共通課題の基本的な問題解決を目指すため、次の 5 項目を基本としている。

- ① 民主的な政治システムの構築および国家統一・団結の維持
- ② 法による統治およびグッド・ガバナンスの確立
- ③ 経済再建の促進および国民経済システムに基づく持続的で公正な開発基盤の強化
- ④ 国民福祉の向上、宗教生活の質的改善、活力ある文化の創出
- ⑤ 地方開発の推進



## (2) 情報通信とマスメディア

国家計画の内容を受け、情報通信やマスメディアに関する国策大綱が制定された。同大綱が目指すのは、国民全ての階層に情報を伝達し、情報格差をなくし、国家の統一を促進することである。以下に大綱の概要を記す。

- ① 「イ」国全階層の国民に均等かつ公平に情報を伝える。
- ② 報道の自由を認めつつ、法と人権を尊重する報道倫理に基づいたマスメディアを志向する。
- ③ 情報通信技術の開発および応用を推進し、グローバル化時代に対応可能な競争力の高い情報通信体系を確立する。
- ④ 公共および民間の放送機関の発展を促進する。

民間放送局の相次ぐ開設や国営放送局の民営化等、こうした情報通信分野の改革の影響は様々な面で顕著に表れている。

## (3) 国家財政

スハルト政権は、経済開発優先政策を積極的に推進した結果、80～90年代中頃まで「イ」国経済は順調に発展してきた。経常収支の赤字拡大、対外債務への依存度が高い等、いくつかの問題点を抱えつつも、マクロ経済的には順調に推移していた。

しかし、1997年のアジア通貨危機の影響により、「イ」国経済は大きく変転した。経済危機を打開するため、「イ」国政府はIMF主導の下で包括的な経済構造改革計画を策定し、金融構造改革、銀行の整理、各種規制緩和を進めてきた。こうした経済の混乱に伴い、32年に亘り「イ」国を支配してきたスハルト政権が打倒され、新たな民主的な政権が成立したことは記憶に新しい。

アジア通貨危機や政治的混乱の影響により、「イ」国の財政は、大幅な赤字状態にある。同計画では、2004年度には財政黒字を達成する見込みとなっている。

税収を増加する努力を継続して行い、1999～2004年間の税収を国民総生産の5%まで増加させる意向である。

歳出面では、①銀行再編コストの削減、②補助金の段階的撤廃、③公務関連支出抑制、④開発支出の削減に努める。

さらには、国営企業の民営化による収益拡大、国債発行による国内財源の確保等が計画されている。RRIの公社化およびTVRIの株式化の背景には、財政再建の流れがあったともいえる。

### 1-1-3 社会経済状況

#### (1) TVRI の位置付け

- 「イ」国の国営放送機関（TVRI および RRI）は、旧情報省ラジオ・テレビ・フィルム総局（RTF）が監督していたが、1999年10月新政権の発足に伴い情報省が廃止され、現在は国営企業省（BUMN）の管轄下にある。
- TVRI は 2002 年 4 月 17 日付けの政令（Governmental degree）により公社（Perjan: Department Enterprise）から株式会社（PT: Perseroan Terbatas (Limited Liability Company)）化されることになっていた。
- PT 化の目的は国営企業の効率、効果、業績の向上を目指すことである。
- 2003 年 4 月 15 日 TVRI は正式に国有会社(PT)として発足したが、これまでの公社（Perjan）から株式会社（PT）となった。これに伴い役員全員が交替となった。このため新しい TVRI の組織はいまだ決定していないが、新たに任命された役員は社長および 5 名の役員の計 6 名である。
- TVRI 職員の 95%は公務員（Civil Servant）であり、職員給料はこれまで同様、政府から支給されているが、補助金は昨年度より支給されていない。また、職員の身分は徐々に変更されて、将来的には PT. TELKOM のように人件費も支給されなくなる。実施時期は正式に公表されていないが早ければ来年度からとなる予定である。
- TVRI は同国で唯一つの公的テレビ放送機関として存続することになっており、民放が放送しない地方にも情報を提供する義務（PSO :Public Service Obligation）を負っている。新放送法においても、TVRI は唯一つの国有テレビ放送機関として、財源は以下を認めている。
  - a. 視聴者料金
  - b. 国家予算または地方政府予算
  - c. 公的機関よりの寄付金
  - d. 広告宣伝料
  - e. その他放送関連ビジネス
- これまでは予算請求などの承認手続きは財務省と BUMN の両方に出していたが PT 化によって BUMN のみへの申請で、財務省へは不要となるなど手続きが簡素化される。
- 無償資金協力で調達された機材を含め TVRI の資産（Equity）は全て政府資産として残る。

#### (2) インドネシア東部地域の位置付け

「イ」国ではスハルト政権下のジャワにおける工業化を中心とした経済発展に伴い、全体人口に占める貧困総人口の割合が 60%(1970 年)から 11%(1996 年)まで減少している。しかしこれによりジャワ島と外領地域の地域間格差が拡大したことから、同国政府は、1994 年に発表した第 6 次 5 カ年計画（1994-1998

年)以降、「イ」国東部地域を開発の重点地域に設定し、地域間の貧困格差の是正に取り組んでいる。この地域格差是正の有効手段が放送であり、マカッサル放送局の役割は重要である。

「イ」国東部開発は東インドネシアの当時の 13 州に一つずつ総合経済開発地域 (Kapet) を指定し、税制の特別優遇措置などを与えることで、Kapet の成長を促そうとする計画であったが、中央政府と地方政府の思惑が一致しないため、計画は予定通り進んでいない。

しかし、イリアンジャヤ (最東端の州。西部ニューギニア) などでは、銅、金、天然ガス、木材資源、漁業資源と豊富であり、東部インドネシアでは、鉱業、海洋資源、海洋ツーリズム、そして海上交通など開発ポテンシャルは大きく、「イ」国政府はインドネシア東部地域の開発を最重点課題として 2000 年 8 月には、東部インドネシア 開発担当国務大臣 (Menteri Negara Percepatan Pembangunan Kawasan Timur Indonesia) を任命した。マカッサル市は「イ」国東部最大の都市であり、「イ」国東部開発の拠点として情報発信基地でもある。

2000 年に中央政府が策定した国家開発 5 ヶ年計画では地方開発戦略は「地方能力向上および住民エンパワーメント」であり、放送はこれをサポートする有効手段となっている。

(注) 東部地域とは①西ヌサトゥンガラ、②東ヌサトゥンガラ、③イリアンジャヤ、④マルク、⑤北マルク、⑥北スラウェシ、⑦中央スラウェシ、⑧南スラウェシ、⑨東南スラウェシ、⑩東カリマンタン、⑪南カリマンタン、⑫中央カリマンタンおよび⑬西カリマンタンである。面積は国土全体の約 7 割、人口は「イ」国全体の約 2 割程度である。



図 1-1-5 インドネシア東部地域

## 1-2 無償資金協力要請の背景・経緯および概要

### 1-2-1 要請の概要

本計画で「イ」国側から要請のあった TVRI マカッサル放送局放送設備の構成は、表 1-2-1 に示しておりである。

表 1-2-1 要請機材リスト

No.	項目	数量
<b>1</b>	<b>スタジオ No.1</b>	
(1)	<b>スタジオ No.1 システム</b>	<b>1 式</b>
1)	スタジオカラーカメラシステム	1 台
2)	ビデオシステム	1 式
3)	デジタルオーディオ機材	1 式
4)	モニタ類	1 式
5)	同期信号発生器	1 式
6)	インターカムシステム	1 式
7)	タリシステムおよびオンエアランプ	1 式
8)	時計	1 式
9)	据付資機材	1 式
(2)	<b>送出力 VTR</b>	<b>1 式</b>
1)	デジタルVTR(再生、パラレルリモート付)	4 台
(3)	<b>1 対 1 編集システム</b>	<b>5 組</b>
1)	デジタルVTR(録画/再生)	2 台
2)	編集用コントローラ	1 台
3)	ビデオモニタ	2 台
4)	据付資機材	1 式
(4)	<b>A/B ロール編集システム</b>	<b>2 式</b>
1)	デジタルビデオスイッチャ	1 組
2)	デジタルビデオエフェクタ	1 組
3)	編集用コントローラ	1 組
4)	文字発生装置	1 組
5)	デジタルVTR(記録/再生)	2 組
6)	デジタルVTR(再生)	1 組
7)	同期信号発生器	1 組
8)	ビデオモニタ	1 式
9)	波形モニタ	1 組
10)	ベクトルスコープ	1 式
11)	デジタルオーディオミキサ	1 組
12)	デジタルオーディオエフェクタ	1 組
13)	オーディオモニタ	1 式
14)	デジタルオーディオテープレコーダ	1 台
15)	CDレコーダ	1 台
16)	オーディオカセットレコーダ	1 台
17)	MDプレーヤ	1 台
18)	ラックおよびコンソール	1 式
(5)	<b>測定器</b>	<b>1 式</b>
1)	アナログ・オシロスコープ(400Hz)	2 台
2)	ビデオ信号アナライザ	1 台
3)	ビデオ信号発生器	1 台
4)	アナログオーディオアナライザ	2 台
(6)	<b>主要予備品</b>	<b>1 式</b>
1)	スタジオカメラシステム(CCD カラーカメラ)	1 組
2)	ENG/EFP カメラ(CCD カラーカメラ)	1 式
3)	ビデオスイッチャ	1 式

No.	項目	数量
4)	コンピュータグラフィック	1 式
5)	ビデオモニタ	1 式
6)	オーディオミキサ	1 式
7)	デジタルVTR	1 式
8)	スピーカー	1 式
9)	テープクリーナー	1 式
10)	ビデオ機材	1 式
11)	その他	1 式
(7)	<b>照明機材</b>	<b>1 式</b>
1)	500W トップサイクロマライト	18 個
2)	1kW フロッドライト	8 個
3)	650W フレスネルレンズスポットライト	16 個
4)	クランプハンガ	24 個
5)	延長ケーブル・2m	10 本
6)	延長ケーブル・5m	10 本
7)	操作棒	2 本
8)	240V500W ハロゲンランプ(UHQ10IIICA 用)	54 本
9)	240V500W ハロゲンランプ(LQB 用)	48 本
10)	240V650W ハロゲンランプ(0.5KOSIIIA 用)	48 本
11)	調光装置(8 回路用)	1 式
<b>2.</b>	<b>ニュース番組制作機材</b>	
(1)	<b>1 対 1 編集システム</b>	<b>3 式</b>
1)	デジタルビデオ(記録/再生)	2 台
2)	編集用コントローラ	1 台
3)	ビデオモニタ	2 台
4)	据付資機材	1 式
(2)	<b>A/B ロール編集システム</b>	<b>1 式</b>
1)	デジタルビデオスイッチャ	1 組
2)	デジタルビデオエフェクタ	1 組
3)	編集用コントローラ	1 組
4)	文字発生機	1 組
5)	デジタルVTR(記録/再生)	2 組
6)	デジタルVTR(再生)	1 組
7)	同期信号発生器	1 組
8)	ビデオモニタ	1 式
9)	波形モニタ	1 組
10)	ベクトルスコープ	1 式
11)	デジタルオーディオミキサ	1 組
12)	デジタルオーディオエフェクタ	1 組
13)	オーディオモニタ/スピーカ	1 式
14)	デジタルオーディオテープレコーダ	1 台
15)	CDレコーダ	1 台
16)	オーディオカセットレコーダ	1 台
17)	MDプレーヤ	1 台
18)	ラックおよびコンソール	1 式
(3)	<b>ノンリニア編集システム</b>	<b>1 式</b>

No.	項目	数量
(4)	<b>1 体式 ENG カメラレコーダ</b>	<b>3 式</b>
1)	ENG カメラ	1 組
2)	ショルダストラップ	1 組
3)	ビューファインダー 1.5"	1 組
4)	マウントプレート	1 組
5)	ガンマイク	1 組
6)	ズームレンズ	1 組
7)	カメラライト	1 組
8)	トライポット+スプレッタ	1 組
9)	バッテリーセット (チャージャー1 個+バッテリー3 個)	1 式
10)	バッテリー	2 組
11)	AC アダプタ	1 組
12)	ENGカメラ・キャリングケース	1 組
13)	据付資機材・マニュアル	1 式
(5)	<b>ENG/EFP カメラ</b>	<b>2 式</b>
1)	カメラヘッド	1 組
2)	ショルダストラップ	1 組
3)	ビューファインダー 1.5"	1 組
4)	ガンマイク	1 組
5)	フード	1 組
6)	レインカバー	1 組
7)	ヘッドセット	1 組
8)	ズームレンズ(20 倍)	1 組
9)	ビデオレコーダ(本体取付型)	1 組
10)	同上用アダプタ	1 組
11)	充電器	1 組
12)	バッテリー	2 組
13)	レポータライト(タンダステン)	1 組
14)	ENG/EFPカメラ・キャリングケース	1 組
15)	据付資機材・マニュアル	1 組
(6)	<b>EFP 用アクセサリ</b>	<b>1 式</b>
1)	Teiax・ケーブル用アダプタ	2 組
2)	ステレオヘッドホーン	4 個
3)	Teiax ケーブル(100m ケーブルドラム付き)	2 式
4)	ビューファインダー 5"+取付金具	2 組
5)	CCU	2 組
6)	CCUリモコンパネル(Triax ケーブル付)	2 組
7)	レンズ用リモート装置	2 組
8)	ドリリー、三脚、スプレッタ 他	2 式
<b>3.</b>	<b>据付工事</b>	<b>1 式</b>

出所：TVRI

## 1-2-2 わが国の援助動向

わが国の「イ」国放送分野への援助は、1973年の「放送網拡充計画」への有償資金協力が最初である。同計画以降も、技術協力（プロジェクト方式技術協力、専門家派遣、開発調査）および資金協力（無償資金協力、円借款）を通じて継続的に援助を実施し、放送ネットワークの拡充や人材育成に多大な貢献をしている。

この他、わが国放送関連団体の協力の下、技術支援専門家の派遣、国際共同プロジェクトの実施、「イ」国政府機関関係者の研修、国際会議やセミナー、展示会等の開催等が実施されている。表 1-2-2 に資金協力実績、表 1-2-3 に技術協力実績を示す。

表 1-2-2 年度別・形態別の資金協力実績

年度	有償資金協力	事業費 (百万円)	無償資金協力	事業費 (百万円)
1973年	放送網拡充	1,224	—	
1974年	放送網拡充	2,432	—	
	テレビジョン放送網拡充計画	832		
	中波ラジオ放送網拡充計画	1,225		
	テレビジョン放送網拡充計画	185		
1975年	放送網拡充計画	786	—	
	テレビ網拡充	1,730		
1982年	—		ラジオ・テレビ放送訓練センター建設計画	1,915
1985年	ラジオ・テレビ放送網拡充計画(フェーズ I)	6,507	—	
1987年	ラジオ・テレビ放送網拡充計画(フェーズ II)	8,603	—	
1988年	—		テレビ報道番組総合編集・ダビングシステム	502
1990年	ラジオ・テレビ放送施設改善計画(フェーズ I)	7,478	放送技術強化計画	830
1993年	ラジオ・テレビ放送施設改善計画(フェーズ II)	708	—	
1995年	ラジオ・テレビ放送施設改善計画(フェーズ III)	5,318	—	
1997年	—		テレビ放送技術訓練所機材整備計画	497
2001年			TVRI ジャカルタ局報道部放送設備計画	539
2002年			マルチメディア訓練センター訓練機材整備計画	590

出所：インドネシア共和国セクター・イシュー別基礎資料 2001年版（第2巻）他

表 1-2-3 年度別・形態別技術協力実績

年度	専門家派遣	研修員受入	開 発 調 査	プロジェクト方式
～1990年	218人	187人	ラジオ・テレビ放送総合開発計画（1984年） ラジオ・テレビ放送総合開発計画（1989年）	1983年～1992年 マルチメディア訓練センター（MMTC）
1991年	17人	14人	—	
1992年	19人	14人	—	
1993年	7人	4人	—	
1994年	10人	3人	—	
1995年	6人	5人	—	
1996年	5人	0人	—	
1997年	6人	3人	ラジオ・テレビ放送総合開発計画（事前調査のみで凍結中）	—
1998年	7人	3人	—	—
1999年	10人	8人	—	—
合 計	305人	241人	3件	1件

出所：インドネシア共和国セクター・イシュー別基礎資料 2001年版（第2巻）

### 1-3 他ドナーの援助動向

TVRI マカッサル放送局は1998年フランス国より5kWのテレビ用送信機を供与されている。

## 第2章 プロジェクトを取巻く状況



## 第2章 プロジェクトを取巻く状況

### 2-1 プロジェクトの実施体制

#### 2-1-1 組織・人員

##### (1) TVRI の役割と位置付け

###### 1) 国営企業省 (BUMN) との関係

TVRI は旧情報省 RTF 総局の所管であったが、1999 年 10 月に新政権が発足したのに伴い情報省が廃止され、現在は BUMN の傘下にある。

###### 2) 新放送法による TVRI の位置付け

2002 年 11 月施行された新放送法においても、TVRI は同国唯一つの公的放送機関として全国に放送する義務が課せられている。一方、2003 年 4 月 15 日付けで公社から国有会社となり、政府からの補助金は廃止されることになった。このため今後の TVRI の主要財源は広告宣伝費、受信料収入で賄われる計画である。

##### (2) 実施機関組織図、人員配置

###### 1) 先方実施体制

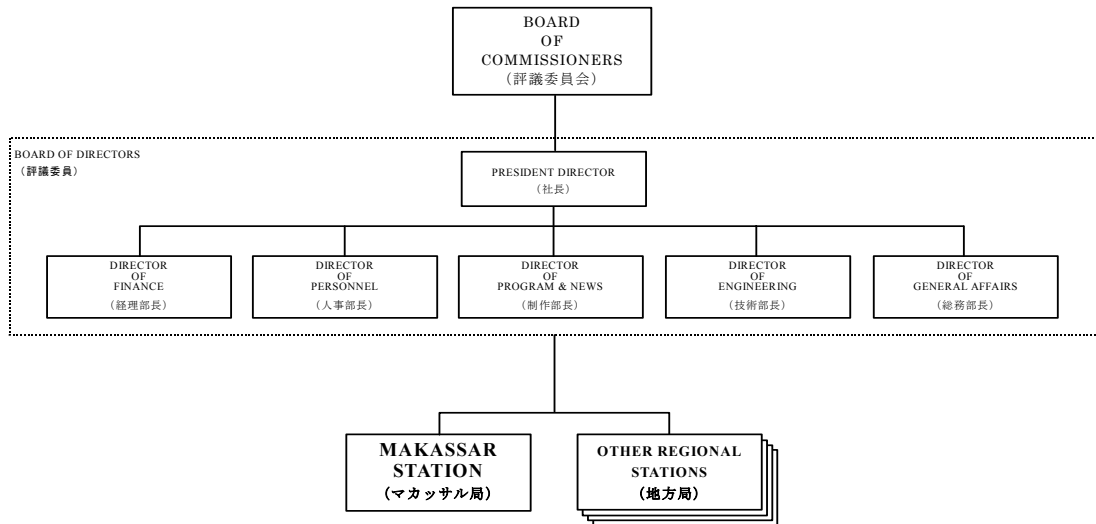
先方実施体制は、以下のとおりであることを確認した。

- 主管官庁： 国営企業省 (BUMN)
- 実施機関： TVRI ジャカルタ本局
- 運営・維持管理機関： TVRI マカッサル放送局

###### 2) TVRI

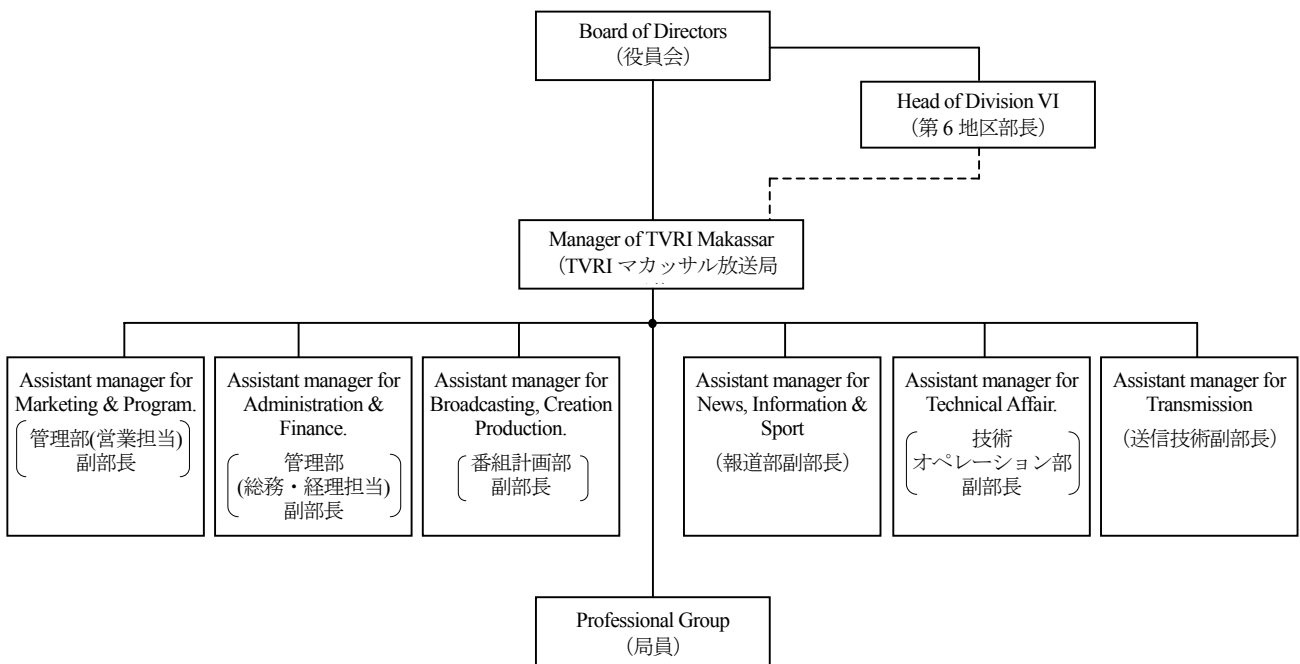
本プロジェクトに関する「イ」国側の主管官庁は、国営企業省 (BUMN) であり実施機関はインドネシア国有テレビ会社 (TVRI) であるが、TVRI は現地調査期間中の 2003 年 4 月 15 日に、これまでの公社 (Perjan: Department Enterprise) から株式会社 (PT: Perseroan Terbatas (Limited Liability Company)) となった。これに伴ない役員全員が交替となった。このため新しい TVRI の組織はいまだ決定していないが、新たに任命された役員は社長以下 5 名、計 6 名である。これまではマーケティング部門の役員が 1 名いたが、これを無くしたため、1 名削減となった。2003 年 4 月 17 日現在の暫定組織を図 2-1-1 に示す。

なお、本件調査対象の TVRI マカッサル放送局の組織図は、図 2-1-2 に示すとおりであり、同局の職員数は、総勢 303 名で、管理部：78 名、番組計画部：64 名、報道部：48 名、技術オペレーション部：59 名、送信技術部：54 名から構成されている。



出所：TVRI ジャカルタ本局

図 2-1-1 TVRI 本局の組織図



出所：TVRI マカッサル放送局

図 2-1-2 TVRI マカッサル放送局組織図

## 2-1-2 財政・予算

### (1) TVRI 本局の予算

これまでTVRIの予算は、主に受信料収入などの運用予算(収入)、国庫から補助金および民間放送からの補助金収入などの財源で成りたってきた。しかし、TVRIの経営状況は、1997年のアジア通貨危機の影響により、民間放送局が献金を取り止め、他方で国庫からの補助金が減少したため、赤字経営となっている。また、国有企業化により2003年度の国家からの補助金は打ち切られたため、経営的には非常に厳しい状況下に陥り、2003年初期には一部の地方支局では放送時間の短縮や一時中止の状況に追い込まれた地方支局もある。しかし、2003年4月15日に発足した新体制下では2001年12月から導入してきたコマーシャル放送(CM料)のさらなる拡大を図り、地方支局の運営を支援していく方針としたため2003年5月以降、全ての地方支局は通常運営されるようになった。

TVRIの試算によれば2003年度のCM料収入予測は2000億ルピア以上、2004年度においては4000億ルピアの収入予測となっている。この収入を各支局の予算規模に応じて配賦する計画である。ちなみにCM料単価は30秒当たり朝番組で3百万ルピア、夕刻から夜番組で4百万ルピアとなっており、一時間に9分流す予定である。

表 2-1-1 TVRI 本局の収支状況

(単位：百万ルピア)

項 目 \ 年	2001	2002	2003
運用収入	<b>28,316</b>	<b>80,299</b>	<b>241,145</b>
民間企業等後援	20,446	15,222	35,120
補填金	3,292	3,515	5,125
受信料収入	4,578	0	0
広告	0	61,562	200,900
運用支出	<b>422,286</b>	<b>320,212</b>	<b>448,219</b>
人件費	104,540	104,950	105,250
事務所調度費	29,200	29,351	30,133
保守費	32,269	32,614	35,360
原価償却費	132,977	29,969	127,250
番組制作費	99,357	100,796	125,350
送信機運搬費	10,186	9,750	9,873
一般経費	12,388	12,001	14,820
部品調達費	1,202	558	0
マーケティング経費	166	223	183
運用支出計	<b>-393,970</b>	<b>-239,913</b>	<b>-207,074</b>
その他収入	<b>179,292</b>	<b>171,760</b>	<b>77,979</b>
金利	305	393	350
施設賃貸料	838	1,559	5,750
政府補助金	164,678	167,433	62,129
民間放送からの補助金	11,750	2,373	0
その他	1,721	2	2,750
その他支出	<b>6,944</b>	<b>6,478</b>	<b>5,200</b>
収 入	<b>-221,622</b>	<b>-74,631</b>	<b>-134,295</b>

出所：TVRI 本局

## (2) TVRI マカッサル放送局の予算

TVRI マカッサル放送局の過去3年間の収支バランスは表2-1-2に示すとおりである。TVRI マカッサル放送局の収支も本局同様に赤字状況である。マカッサル放送局の支出予算規模はTVRI全体の2～3%程度である。このうち人件費が最も大きく、マカッサル放送局総支出額の約50%を占めている。次いで番組制作費が約25%ととなっている。この2項目で支出額の大半を占めている。

収入は番組放送から得られる運用収入と中央・地方政府から補填される補助金からなっている。運用収入は地域の企業や団体から得られるイベントや報道に対する支援金と番組制作にかかる補填金からなっている。

表2-1-2 TVRI マカッサル放送局の予算の推移

(単位：百万ルピア)

項目	2000	2001	2002
運用収入	1,259	1,746	1,980
補填金	294	538	471
企業支援金	965	1,208	1,509
政府補助金	3,007	5,377	5,335
収入計	4,266	7,123	7,315
運用支出計	7,383	10,213	9,888
人件費	3,007	5,377	5,335
給与	2,223	4,321	4,302
厚生年金	384	551	616
食事手当	249	349	330
その他	151	156	87
事務所調度費	617	606	904
電気代	407	220	474
その他	210	386	430
保守費	868	933	955
建屋修繕費	294	147	101
スタジオ機材費	312	286	76
ビデオテープ代	0	136	506
車両部品代	173	224	171
その他	89	140	101
番組制作費	2,683	3,119	2,621
宗教/文化/スポーツ	520	665	484
ドラマ	144	257	41
音楽	303	229	415
ニュース	175	198	149
番組制作促進費	614	1,002	817
その他	927	768	715
一般経費	163	138	58
送信費	45	40	15
収支	-3,117	-3,090	-2,573
赤字比率	-42%	-30%	-26%

出所：TVRI マカッサル放送局

2003年度のマカッサル放送局の収入見込みは表2-1-3に示すとおりである。収入は番組放送から得られる運用収入と中央・地方政府から補填される補助金からなっている。これに、2003年度よりジャカルタ本局で得られるCM料金の配賦金が補填される予定である。この配賦金が今後の収入源の中心となる。運用収入と補助金の収入額はほぼ同額である。政府からの補助金は中央政府から支給される人件費相当額と州政府やマカッサル市からの補助金からなっている。中央政府からの補助金は2004年度よりなくなるが、今年度(2003年)より南スラウェイ州政府(10億ルピア)およびマカッサル市(5億ルピア)からの補助金が入ることになっている。また、南スラウェシ州内の27県とも運営に必要な資金援助を交渉中である。

表2-1-3 TVRI マカッサル放送局の2003年度における収入見込

	項目	金額(百万ルピア)	比率
A	運用収入	8,250	50%
A-1	支援金(イベント報道収入)	450	2%
A-2	補填金(番組制作)	600	4%
A-3	CM料	7,200	44%
B	補助金	8,185	50%
B-1	中央政府よりの補助金(人件費)	5,335	33%
B-2	州政府補助金	1,000	6%
B-3	マカッサル市補助金	500	3%
B-4	27県	1,350	8%
C	総収入(A+B)	16,435	100%

出所: TVRI マカッサル放送局

## 2-1-3 技術水準

### (1) 運営・維持管理体制

TVRI マカッサル放送局には、管理部の他、番組計画部、報道部、技術オペレーション部があり、それぞれの部門の局員は海外研修や最新放送技術のセミナーなどに参加する方法で最新の技術を習得している。既存のアナログ機材の保守点検は日常点検から定期点検まで独自で実施している。

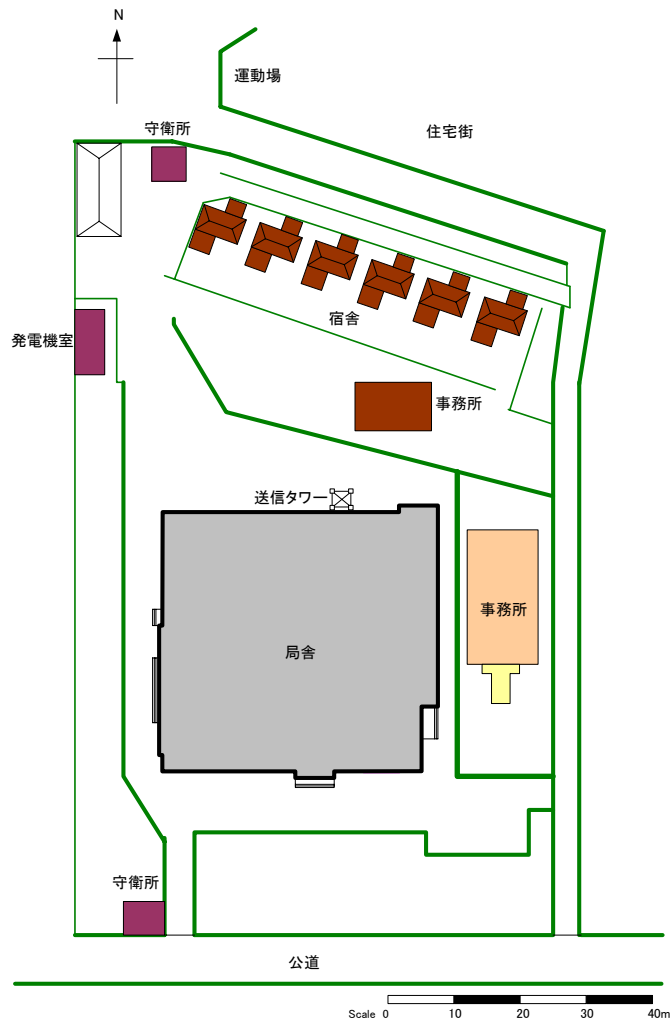
### (2) 技術レベル

既存設備は老朽化しているものの維持管理状況は比較的良好であり、わが国で研修した技術者もいることからアナログ機材の運転・維持管理技術は十分有している。

## 2-1-4 既存の施設・機材

### (1) 既存の施設の現状

TVRI マカッサル放送局は、1962年に計画された放送ネットワーク整備5カ年計画にもとづき、1972年に建設されたものである。局舎は、マカッサル市の中心にあり、二階建て(一部三階建て)となっているが、1972年当初は第2スタジオを含んだ主要な部分が建てられた後、1980年に第1スタジオ部分が増築され、経年により建物は接続部分を中心に一部で雨漏り跡が認められている。局舎内にはエレベータは無く、搬入はすべて階段か外階段を利用することになる。機材の据付場所については下記のとおりである。図2-1-3にTVRI マカッサル放送局の敷地平面図を示す。また、図2-1-4に局舎建屋平面図を示す。



出所：TVRI

図 2-1-3 TVRI マカッサル放送局の敷地平面図



出所：TVRI

図 2-1-4 局舎建屋平面図

## (2) 既存の機材の現状

### 1) 概要

TVRI マカッサル放送局は、1972年12月7日設立され、わが国有償資金協力による機材供与を受け73年5月より放送を開始した。メダン局について「イ」国で4番目、ジャワ島以外では初めての地方放送局として開設された。開局時の放送施設は、第1スタジオと2階建ての事務棟および送信機室に付随する高さ80メートルの送信アンテナ鉄塔のみであった。当時は、モノクロテレビの時代であり日本のメーカーが製造した機材の提供を受けた。

1980年には、再度わが国有償資金協力で日本製カラーテレビジョン放送設備が、第2スタジオを中心にした建屋とともに供与された。1981年秋から、送信チャンネルVHF第4チャンネル・CCIR PAL-Bカラー方式・出力1kWのカラー放送となった。その後、1998年にフランス政府からの援助で5kWの送信機を取得し日本製の1kW送信機との現用予備体制となり今日に至っている。

TVRI マカッサル放送局を親局とする放送区域は、南スラウェシ州の26県におよび現在17局（18局のうち1局は故障中）の中継局が放送を行っている。

### 2) 既存機材の利用状況

既存機材の利用状況は表2-1-4のとおりである。利用状況の調査は、放送施設立会い調査による。夜間および休日についての調査についても可能な限り立会いを行ったが、TVRI マカッサル放送局発行の番組時間表からの確認、TVRI マカッサル放送局テレビ視聴、聞き取り調査により作成した。

表 2-1-4 既存機材の利用状況

機材名		建設年			利用状況 月曜日から日曜日の利用状況(7日間)、リハーサルを含む
		第1期 (1972年)	第2期 (1981年)	第2期 (1994年)	
<b>I. テレビ・スタジオ機材</b>					
A. 第1スタジオ機材	A-1 番組制作用機材	● 新設		● 照明機材(コントローラー) オーディオミキサー 音声機材(CD、エフェクター) スピーカー	利用なし
B. 第2スタジオ機材	B-1 番組制作用機材		● 新設	● カメラ(3台) ビデオスイッチャー(1台) オーディオミキサー(1台) VTR(4台)	10時より16時までの利用が3日、 14時より18時までの利用が2日間
	B-2 番組制作用編集機材				同上
C. 第3スタジオ機材 (現在は音響収録室)			● 新設	● VTR(4台) 編集機(1台)	9時より17時までの利用が5日間
D. ニュース番組制作機材	D-1 ENG機器		● ENGカメラ(5台)	● ENGカメラ(14台)	使用可能な6台のカメラのうち4台以上を持ち出している
	D-2 番組制作用編集機材(1/2インチ)		同上用VTR(6台)	VTR(3台)	9時より17時までの利用が5日間
	D-3 番組制作用編集機材(1/4インチ)				10時から12時の利用が1日、最近導入
	D-4 ポストプロダクション機器				利用なし
E. コミュニティースタジオ機材		●		● 全機材更新	基本的にTVRIマカッサル放送局放送時間である、毎日5時から24時まで利用しているが、付属のニューススタジオは、14時から22時の利用となっている。
F. 主調整室機材		●		● モニター類	TVRIマカッサル放送局放送時間である、毎日5時から24時まで利用
G. テレシネ/FSS装置		●			利用なし
H. テレビ中継車、			●	●	1回の利用を確認。休日コンサートイベントの収録



### 3) 既存機材の状況

マカッサル放送局の放送設備は、前記 5kW 送信機の他は 1980 年および 1994 年に設置したものであり、ほとんどの既存機材は耐用年数を超えており、スペアパーツの調達も困難な状況である。したがって、運用機材の多くは、取得時の技術基準をはるかに下回った機器が多く、使用に耐える機器だけを残して運用している状況である。

TVRI マカッサル放送局放送機材の状況は以下のとおりである。

#### ① 第1スタジオ

設備はすべて老朽化のため廃棄されており、現在使用不可能。

スタジオ天井部には、照明灯具取付け用のグリッドパイプが残されているが空調は停止している。エアハンドリングユニットからのダクト途中部分で閉鎖している。一方、副調整室内にも同様に故障廃棄済のスーパーインポーズ用フライイングスポットスキャナー(日本製)および照明調光卓(日本製30回路3連制御)が残置されているのみである。将来、TVRI マカッサル放送局としては、中継車を副調整室として利用して運用再開したい意向との事である。

#### ② 第2スタジオ

生放送および番組収録に使用中。

ビデオエンジニア(VE)等の技術スタッフが別室の主調整室で操作をする方式である。建設当時とは、全く違う運用を余儀なくされている。副調整室の機器も、照明用のディマーコントローラー(調光卓)の故障で辛うじて10回路のみの直接パッチによる点滅となっている

その他の、映像・音声機器もモニター等ごく一部分を除き大半が故障で使用不可能。

主な現用可能機器は以下のとおりである。

カメラ	: 3台	3CCD型(日本製)
カメラコントロールユニット	: 3台	副調整室外のPC室内に設置(同上)
マイクドリー	: 1台	フロアー移動型(同上)
ジープモニター	: 1台	20インチ型(同上)
照明バトン	: 12本	手動操作カウンターウエイト付
美術バトン	: 4本	手動操作カウンターウエイト付
Horizont	: 1面	黒カーテンで遮蔽
グランドピアノ	: 1台	
1/2インチカセットVTR	: 1台	副調整室素材再生・収録用(同上)
局内インターカム	: 1台	10対向高声式(同上)

スタジオ照明は、照明用トランス、ディマーラック(MCCB付き)、コントローラーから構成されている。コントローラーは20回路を有しており、TVRI マカッサル放送局では機材の不足からやむを得ずPC室に併設されたニューススタジオ用の照明についてもこのコントローラーから制御している。

### ③ PC室

設置目的を変更して使用中。

設立当初は、ジャカルタ発の衛星配信全国ネット番組と地域向け自主番組の生放送および録画番組のテープ送出しの切り替えならびに監視が目的であった。しかし、現在では、スタジオ機器の老朽化に伴い運用形態の変更を強いられて全国ネット番組と地域向け番組の切り替え操作は別掲の送信機室で行っている。

なお、以前付属の顔出しスタジオとして設置されていた部分をニューススタジオに改装して使用中である。

#### [主な現用可能機器]

カメラ	:	2台	3CDD型3脚付(日本・ドイツ製)
映像スイッチャー	:	1台	8入力・2ミックス(日本製)
音声調整卓	:	1台	12入力・3グループ・1出力(同上)
照明	:	10灯	第2スタジオからコントロール
1/2インチカセットVTR	:	2台	録画・編集・送出力(日本製)
テープレコーダー	:	1台	6ミリオープンテープ型(同上)
ビデオモニター	:	10台	2段棚
局内インターカム	:	1台	10対向高声式
文字発生器	:	1台	アルファベット角太文字スーパー用
コンピュータグラフィックス	:	1台	映像加工用(マカッサル放送局マーク等)

### ④ 主調整室

テレビ局の心臓部にあたる役割を有する設備であるが大半の機器が電源も入らないほど老朽化が激しく、一部を除き機能の多くは失われている。

室内には、廃棄機器のラック10架が放置されたままである。

#### [主な現用可能機器]

同期信号発生器	:	ラック1架	通常は現用予備体制であるが1式のみ
ビデオモニター切替え	:	ラック1架	入力系統の監視機能のみ可能
カメラコントロールユニット	:	3台	第2スタジオカメラ用(日本製)
ビデオモニター	:	4台	同カメラ映像モニター棚(同上)
インターカム	:	1対向	送受話器式

⑤ VTR 編集室

前記の PC 室の他に、2 箇所編集室が稼動している。

1/2 インチ VTR 編集機	: 1 式	1 階報道事務室に設置。VHS 再生機付 (日本製)
1/4 インチ VTR	: 1 式	2003 年 3 月取得。2 階テープ倉庫隣に設置。1/2 インチカセットテープ VTR1 台併設、ダビングを行う。1/4 インチカセットテープ使用の ENG カメラ 1 式常駐。
ノンリニア編集機	: 1 台	ソフトウェアの不具合で故障中使用不可能 (米国製) 1999 年製。

⑥ 送信機室

前述のように、出力 1kW (日本製) および 5kW (仏製) の 2 台の送信機での現用・予備体制である。送信担当者は、5kW 機が現在不安定な状態であることを指摘している。なお、ジャカルタ本局からの衛星伝送の受信機もこの部屋に設置されている (日本製 2 台の現用・予備体制)。

⑦ 保守用工作室

作業台と工具類があるが、照明用の電球をはじめカメラ用撮像管の予備品等の在庫品は見当たらない。製造者が、生産を停止しているため部品の入手は不可能な状況である。また、16 ミリフィルム用テレシネ装置 (日本製) も交換部品が生産停止により入手不能となった事から、故障のまま放置されている。

⑧ 中継車

日本製の車輛で、車載機材は以下のとおりである。

カメラ	: 2 式	3CCD 撮像型
ビデオスイッチャー	: 1 式	ダイレクト式
発動発電機	: 1 台	ディーゼル機関 7kVA
音声・照明機材等	: 若干	スタジオと共用。

⑨ ENG カメラ

現在カメラを 6 台有している。

⑩ 音響収録室

元のテレビ用スタジオを改造して使用している。音声機材は、12 入力ミキサー・DAT・エコーマシーン等日本製の民生機種である。

⑪ 空調装置

既存の空調設備は、局舎 1 階に日本製のセントラル型の空調機 2 台および冷却器 1 台があり、局舎 2 階には空調機と冷却器が一体型のセントラル型空調機が 2 台ある。上記のセントラル型空調機の供給範囲外の部屋では、個別型空調機が設置されている。

局舎 1 階では、冷却器の老朽化に伴う出力の低下により、現在は、空調機 1 台のみの運転を行い、送

信室と近傍の事務室のみの空調を行っている。また、局舎2階では、上記のセントラル型空調機が2台のうち1台が故障しており、第2スタジオに供給する1台のみが運転可能となっている。

#### ⑫ 電源設備

TVRI マカッサル放送局では、市内の20kV配電網から敷地内の受変電設備により受電し、低圧380/220Vに変電し、地中埋設ケーブルにて局舎内の構内配電設備を介し、局内の各施設へ電力を供給している。これらの受変電設備、構内配電設備は、インドネシア製またはヨーロッパ製の機器で構成され、開局当初から1980年代前半の間に設置または更新されたものである。

また、市内電源が停電の際には、非常用発電機（500kVA x 1台、1983年ドイツ製）により給電を行っている。マカッサル市では、日常、停電はほとんど発生しないが、雨期には1日に5～6回発生することがある。

既存の電源設備の問題点としては、まず、放送機器に不可欠な自動電圧調整器（AVR、150kVA）2台のうち、1台が故障しており、放送品質に影響をきたしているとのことである。また、現在の非常用発電機の性能では、停電の際、停電発生から非常用発電機が起動し安定運転に至るまで約10分を要し、その間、番組放送が中断され、TVRI マカッサル放送局の放送サービスの品質低下を招いているとのことである。

#### 4) 既存放送機材・設備の現状と問題点

##### ① 機材の老朽化

日本国内放送局の放送機材については、一般に法定耐用年数は6年であるが、TVRI マカッサル放送局の既存の機材については1972年から1994年に製造されており、寿命を越えている機器が多い。このため部品の製造も中止になっており、スペアパーツの調達も困難な状況にある。

TVRI マカッサル放送局所有機材の構成と製造年を表2-1-5に示す。TVRI マカッサル放送局機材のうち特に老朽化が進んでいると思われるものは第2スタジオ、PC室および主調整室の機器である。

表 2-1-5 マサッカ局の施設構成と建設年度

名称	建設年	単位
第1スタジオ	(1972、1994)	1室
第2スタジオ	(1981、1994)	1室
コミュニティースタジオ (PC室)	(1994)	1室
第3スタジオ ※1)	(1972、1994)	1室
VTRテープ編集室	(1981)	1室
ENG装置	(1991)	1式
主調整室	(1981)	1室
中継車	(1981、1994)	2台
電源車	(不明)	1台
送信機	(1972、不明)	1組
電源	(1972、1981)	1式
空調	(1972、1981)	1式

注 ※1) の部屋については、建設時の名称で、現在は音響収録室 (Audio Room) の名称が使用されている。現在は主に音楽のみの収録やリハーサルに使用されている。

なお、既存機材の詳細と建設年を表 2-1-6 に示す。

表 2-1-6 既設機材リスト

No.	機材の名称	製造メーカー/形式/番号			建設年	員数 (注参照)
I	主調整室					
1	制御卓	IKEGAMI	BS-40	KZ-42089, KZ-42090, KZ-42091, IY-39443	1993	4
2	リモコンパネル	IKEGAMI	OCP-40		1980/81	3
3	PDL	NEC	HPB9111		1980/81	1
4	ABA	NEC			1980/81	9
5	音声信号分配器	NEC	101B-AC		1980/81	5
6	タイムベースコレクタ	FORA	FA-330P		1994	1
7	ビデオモニタ B/W		PM9-5B		1994	3
8	ビデオモニタ 10"	IKEGAMI	TM-10-16R		1994	1
9	ビデオモニタ 14"	SONY	PVM-1440 QM		1994	1
10	ビデオモニタ 14"	SONY	BVM-1416 P		1994	1
11	モニタ スイッチャ	GVG	TEN-XLV-2		1994	1
12	波形モニタ	TEKTRONIX	1731		1980/81	3 (1)
13	映像信号分配器	LEITCH	FR-682		1994	3 (1)
14	パルス発生器	LEITCH	FR-682		1994	2 (1)
15	同期信号切替器	TEKTRONIX	ECO-170A		1994	1
16	PAL同期信号発生器	TEKTRONIX	SPG-271	BO22416	1994	2 (1)
17	インカム	TELECALL	MF-20		1994	1
18	直流電源装置	TAKASAGO	BP-035-5		1994	2
II	PC室/ANN室					
1	オーディオテープリール	OTARI	MX-55 N	19352150	1994	1
2	コンパクトディスプレイヤ	TASCAM	CD-401 MK- II	190101	1994	1
3	リパブレータ	YAMAHA	REV-5	JO01019	1994	1
4	オーディオテープレコーダ	TASCAM	122MK-III	20009	1994	1
5	映像SW卓 (8入力)	SONY	BVS-3100P		1994	1
6	オーディオミキサ (8入力)	TOSHIBA	DO 13327B	97213	1994	1
7	オーディオモニタ	JBL	4312B		1994	1
8	映像信号分配器				1994	2
9	ビデオレコーダ	SONY	BVW-70P	14487	1994	1
10	ビデオレコーダ	BTS	BCB-70P	1193	1994	1
11	ビデオカメラ	IKEGAMI	HL-43	OB2669	1994	1
12	ビデオカメラ	BTS	LDK-91	944	1994	1
13	三脚+ドリー	VISCAM	150		1994	1
14	文字発生器	QUANTA	ORION SE	6511193	1994	1
15	OCP	IKEGAMI	OCP-40		1994	1
16	ビデオモニタ 10"	IKEGAMI	TM-10-16R		1994	1
17	ビデオモニタ 9"	SONY	PVM-9041QM		1994	1
18	ビデオモニタ 14"	SONY	PVM-1440QM		1994	2
19	ビデオモニタ 13"	SONY	PVM-1300E		1994	2
20	ビデオモニタ 13"	SONY	PVM-1371QM		1994	2
21	ビデオモニタ 16"	JVC	TM-1600PS		1994	2
22	ビデオモニタ 5"	PHILIPS	CM-5833- II		1994	2

No.	機材の名称	製造メーカー/形式/番号			建設年	員数 (注参照)
23	ビデオモニタ B/W	3Q	TPM-230B-40		1994	6
24	オーディオモニタ		AR-385		1994	1
25	オーディオモニタ用電源	BTS	LDK-4377130		1994	1
26	三脚+ドリー	SHOTOKU	Vicam-150		1994	1
27	三脚+ドリー	VINTEN	Vision-20		1994	1
III	副調整室 スタジオNo.1					
1	照明装置・調光ユニット×24	RDS	DIMASS-2	CB-20090	1994	1
2	オーディオミキサ 8入力	TOSHIBA	DO-13330A	97213	1994	1
3	オーディオテープリール	REVOX	PR-99		1994	1
4	スタジオ インカム	TOSHIBA	40411R		1994	1
5	ホロースポットライト	SILCON	2000		1994	2
6	デジタル・残響付加装置	YAMAHA	RIV-5		1994	1
7	オーディオモニタ用電源	YAMAHA	R-2700	JN1037	1994	1
8	オーディオモニタ・パネル	TOSHIBA			1994	2
IV	副調整室 スタジオNo.2					
1	ビデオカメラ	IKEGAMI	HK-343		1994	3
2	映像SW卓・12入力	TOSHIBA	710	98484	1994	1
3	映像信号分配器		VEA-661		1994	1
4	オーディオミキサ	TOSHIBA	DO1332276	98484-2	1994	1
5	デジタル・残響付加装置	YAMAHA	REV-5	KX1008	1994	1
6	オーディオモニタ用電源	YAMAHA	P2700	KO01003	1994	1
7	ビデオカセットレコーダ	SONY	BVW-70P		1994	1
8	オーディオテープレール	OTARI	MX-55		1994	1
9	スタジオ インカム					3
10	室間 インカム	TELECALL	MF-20			2
11	調光装置	RDS	C-439-D1		1980	1
12	ライト調光卓	RDS				
13	調光装置	RDS	C-438-D2		1974	20
14	調光装置	RDS	C-438-D4		1980	1
15	直・調切り替え盤	RDS			1980	1
16	調光装置	RDS	C-438-D7	C-493-D7	1980	1
17	ライト調光卓	RDS			1980	1
18	ビデオモニタ B/W12"	3Q	TPM-310B		1980	10 (2)
19	ビデオモニタ カラー15"	JVC	TM1500PS		1983	3
20	ビデオモニタ カラー20"	JVC	TM210PS		1983	2
21	ビデオカセットレコーダ (BetacamSP)	SONY	BVW-70P	15357	1994	1
22	ビデオカセットレコーダ (BetacamSP)	BTS	BCB-70P	777	1994	1
V	編集室 (1F)					
1	テレビ受像機・19"	SONY	HV-1982MP		1983	1
2	ビデオカセットレコーダ (BetacamSP)	SONY	BVW-60P	513689	1994	1
3	ビデオカセットレコーダ (BetacamSP)	BTS	BCB-70P	14451	1994	1

No.	機材の名称	製造メーカー/形式/番号			建設年	員数 (注参照)
4	VTR・プレーヤー (BetacamSP)	SONY	BVW-60P	116,661,091,310,955.0 0	1997	4
5	VTR・レコーダ (BetacamSP)	SONY	BVW-70P	1,232,315,359.00	1997	2
VI	EFP-VAN					
1	映像SW卓・8入力	GVG	110P	591360	1993	1
2	オーディオミキサ (10ch)	TAMURA	TS-3353		1993	1
3	デジタルビデオカメラ (CCDヘッド)	IKEGAMI	HL-43P	QB2870, QB2873, QB2868	1993	3
4	映像監視卓	IKEGAMI	BS-40	JE40225, JE40226, JE40227	1993	3
5	三脚+ドリー	VINTEN	VISION 10		1993	3
6	カメラ コントローラ	IKEGAMI	BS-40		1993	3
7	カメラ・リモコンパネル	IKEGAMI	OPC-40		1993	3
8	マイクロフォン (コンデンサ)	SONY	ECM-55SS		1993	2
9	マイクロフォン (ダイナミック)	SONY			1993	1
10	オーディオカセットレコーダ	SONY	TC-D5Pro2		1993	1
11	VTR・レコーダ (BetacamSP)	SONY	BVW-70P	15358	1993	1
12	ビデオ モニタ カラー 15"	HITACHI	CM-151		1993	1
13	ビデオ モニタ カラー 9"	JVC	TM-90PSN		1993	2
14	ビデオ モニタ B/W 9"	HITACHI	VM-921E		1993	3
15	映像信号分配器	HITACHI	VDC-216		1993	2
16	同期信号発生器	GVG	9560		1993	1
17	インカム	HITACHI	INC-1200		1993	1
18	音声信号分配器	HITACHI	DA-0104W		1993	1
19	タリー	HITACHI			1993	1
20	スピーカ モニタ用電源	ROLAND	SRA		1993	1
21	映像信号分配器	NEC	TDA-123BU		1993	1
22	信号発生器		JAJ-ROL		1993	1
23	波形モニタ	TEKTRONIX				
VII	RUANG PERBAIKAN					
1	マイクロフォン (コンデンサ)	SONY	ECM-55SS		Juni 1980	7 (4)
2	マイクロフォン (ダイナミック)	SONY	F-760		Juni 1980	8 (6)
3	テレビ	PANASONIC	TC-2013L		Juni 1980	1
4	ビデオカメラ (CCDカメラヘッド)	BTS	LDK-81/BVV-5	8828/010101	1995	1
5	ビデオカメラ (CCDカメラヘッド)	PANASONIC	AZ-1	C6HY-00041, D9HR-00018, D4HR-00122, D9HR-00135	1995	4
6	電源/ACアダプタ	BTS	LDK		1995	1
7	電源/ACアダプタ	JVC	AA-C22		1995	1
8	ポータブルライト	RDS	MT-200		1995	7 (6)
9	三脚+ドリー	SACHTLER	Video-18		1995	1
10	発電機	HONDA	EM-650		1982	2 (1)
VIII	STUDIO REKAMAN SUARA:					
1	オーディオミキサ (24ch)	TEAC	15		1980/81	1
2	オーディオミキサ (24ch) 用電源	TEAC	PS-15		1980/81	1

No.	機材の名称	製造メーカー/形式/番号		建設年	員数 (注参照)	
3	テープ レコーダ	REVOX	PR-99		1980/81	1
4	スピーカー用電源	TECNIC	SU-800		1980/81	1
5	キーボード	KORG	L3		1980/81	1
6	マイクロフォン	AKG	C414EB		1980/81	1
7	マイクロフォン・スティック				1980/81	15
8	マイクロフォン用電源	AKG			1980/81	1
9	マイクロフォン用電源	NEUMAN			1980/81	4 (2)
10	ノイズプロダクション	TEAC	DX-20B		1980/81	2
11	ノイズプロダクション	TEAC	DX-8		1980/81	1
IX	空調機					
1	空調機・セントラルタイプ	CARRIER	60PK/UW-60E		1995	1
2	空調機・ウインドウタイプ	NATIONAL	CW-171ps235			1
3	空調機・ウインドウタイプ	NATIONAL	CW-171ps235			1
4	空調機・ウインドウタイプ	NATIONAL	CW-182ps255			2
5	空調機・セパレートタイプ	GENERAL			1993	1
6	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	2
7	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
8	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	2
9	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	2
10	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
11	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
12	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
13	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
14	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	2
15	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
16	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
17	空調機・セパレートタイプ	GENERAL			1993	1
18	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL			1993	1
19	空調機・セパレートタイプ	CARRIER	SOEP-450S 90325 Seria125/589766		1996	1
20	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL	2PK		1993	1
21	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL	2PK		1993	1
22	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL	2PK		1993	2
23	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL	2PK		1993	2
24	空調機・セパレートタイプ	NATIONAL	2PK		1993	1
25	空調機・セントラルタイプ	NATIONAL	8PK		1993	1
X	GENERATOR SET & LAB FILM					
1	発電機 (66KVA)	POLIMA	OM-325		1980	1
2	発電機 (500KVA)		AVK/DBK-80/511-4TS		1980/81	1
3	発電機 (4.5KVA)	HONDA			1983	1
4	発電機 (7KVA)	ONAN	DKD		1995	1
5	変圧器	GUNINDO	Dlala B/Dyn5		1983	1

注 : カッコ ( ) 内の数字は、員数に占める故障中の数量を示す。

出所 : TVRI

## ② デジタル化への対応

現在世界中に普及している放送機器は、ほとんどの部分がデジタル化されている。デジタル機器は、これまでのアナログ方式に比べて、データ化技術に関するソフトウェア、ハードウェアが飛躍的に進歩したことにより、記録や保存が容易になり、部分的な組み合わせや切り離しといった加工作業においても品質劣化することがなくなった。このため、アナログでは困難であった編集技術や特殊効果が可能となり、現在の放送においては機器のデジタル化は必須の要件となっているといえる。

## 2-2 プロジェクト・サイトおよび周辺の状況

### 2-2-1 関連インフラの整備状況

#### (1) 電力事情

市内は 20kV 配電網で構成されており、この配電網から敷地内の受変電設備により受電し、低圧 380/220V に変電し、地中埋設ケーブルにて局舎内の構内配電設備を介し、局内に引き込まれている。これらの受変電設備、構内配電設備は、「イ」国製またはヨーロッパ製の機器で構成されているものが多い。市内の電源は安定しており、電圧変動や停電は少なく電力供給は安定しているが、配電用変電所の切り替え操作による瞬時の停電はある。

#### (2) 通信

「イ」国では以前より衛星放送が普及しており、衛星デジタル放送用の受信機とパラボラアンテナを購入することで、わが国のNHKや米国のCNNをはじめ多くの放送を視聴することができる。マカッサルの民放局は、ジャカルタ局からの衛星伝送を PT. TELKOM の回線経由で受けて再送信を行っている。また、TVRI マカッサル放送局は緊急性の高いニュース・報道番組の放映は PT. TELKOM の回線をレンタルで借りて中継している。しかし、このレンタル料が高額（1,000 ドル/時間）であるため、FPU（局外中継装置）の調達を希望している。また市内の電話は普及しており、マカッサル市内では、2001 年の加入者件数は 11 万件を超えている。その他国際電話をはじめ、インターネットおよび携帯電話といった通信インフラも整備されており、市内での利用が可能である。

#### (3) 道路

港から市内への道路状況は舗装状況も良好で、夜間でも照明が点灯しており本計画機材の運搬に問題は無い。市内の交通は、タクシーの他、乗り合いバスが走っている。

### 2-2-2 自然条件

#### (1) 計画地の位置

本計画地があるスラウェシ島は、南緯 0 度から 12 度、東経 0 度から 122 度の間にあり、「イ」国のほぼ中央に位置している。同島には 71 の主要河川と 3,000m 級の山脈がある。マカッサル市（旧称：ウジュンパンダ市）はスラウェシ島の南スラウェシ州にあり、南緯 5 度、統計 119 度に位置している。本計画地の TVRI マカッサル放送局は、同市内の南部にある。



## (2) 気象条件

本計画地であるマカッサル市は、熱帯モンスーン気候にあり、乾期（5～11月頃）と雨期（11～4月頃）に大別される。「イ」国発行の統計資料（「Sulawesi Selatan Dalam Anlgen:2001」）によれば、2001年の年間の平均気温は25～30℃である。湿気は平均70%以上と高い。雨季の降雨量は多い月で1000mm程度になる月もある。